

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスセンターまるべりー		
○保護者評価実施期間	令和7年1月28日	～	令和7年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年1月17日	～	令和7年1月22日 (合議日: 令和7年1月24日)
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	徒歩5分以内の場所に、大型ショッピングセンター、アミューズメント施設(映画館、ボウリング場など)、市立図書館があり、社会資源の環境に恵まれている。	この社会資源を生かした映画鑑賞、ボウリング大会、お楽しみランチ、読書、ゲームセンターなど積極的に行っている。	社会性と自分でできる力を身に付ける取り組みとして、買物体験やおつかいなどを増やして行く予定である。
2	同一建物内に保育園と高齢者住宅があり、多世代が交流できる複合型施設である。	新型コロナウイルス感染症の前は、高齢者住宅の入居者とボッチャや流しそうめん、ミニ納涼祭と一緒に交流を深めていた。	令和7年度からは徐々に交流事業を進めていく。
3	事業所内に専用キッチンがあることで、開設当初から食育活動(調理実習)を行ってきた。令和6年度からは必要な調理器具も備えている。	調理ができる環境が整ってきたことで、食育活動を積極的に実施している。食育を通して、食の大切さを知り、偏食の改善が見られるなど効果が出ている。	メニューを子ども達が話し合っ決めてもらうなど、主体性と責任を持たせる食育活動を検討している。また、家庭菜園については、もう少し役割分担(係)を決めて収穫して食するまでスケジュール管理をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	基準以上の活動スペースはあるが、活動内容によってはスペースがない。また個室(静養室)もあるものの、静かに過ごせる場所にはなっていない。	体育遊びやボール遊びが多いため、スペースが取れない環境になっている。その遊びが多いことから、静養室でゆっくりと過ごせない場合もある。	施設の駐車場や近隣の公園に出掛けるなど、工夫しながら活動を行っている。事業所内のレイアウト変更(改修含む)も検討していく。
2	身体拘束禁止マニュアルや虐待防止マニュアル、非常災害関連(事故防止、緊急時対応マニュアル、感染症等)のマニュアルは整備しているが、一部の保護者に周知されていない。	新規利用時や保護者懇談会等で説明や周知を行っているが、その方法を見直す必要がある。	個別配付や閲覧ファイルを玄関内に置いて、いつでも見れる環境を整えていく。
3			